

オキサミル粒剤 バイデート L 粒剤	取扱メーカー： 協友アグリ、三井アグロ、 ホクサン、一農、琉産 原体メーカー： デュポン
成分： オキサミル〔カーバメート系〕……………0.80%	性状： 淡褐色細粒 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】……………

●根系内に速やかに浸透移行し、センチュウが根部へ侵入するのを阻止又は遅延させ、植物の根を守る効果がある。(制センチュウ作用)

●センチュウに対する種間効力差がなく、シストセンチュウ、ネコブセンチュウ、そして特にネグサレセンチュウに有効。

●蒸気圧が低いのでガス化せず、は種又は定植直前に処理しても葉害がないので、従来の殺センチュウ剤のようにガス抜き期間をもうける必要がない。

●アブラムシや難防除害虫であるミナミキイロアザミウマとの同時防除ができる。

●ミナミキイロアザミウマの防除には、優れた速効性と残効性（処理当日より約20日間有効）により本圃の初期防除がほぼ完全にできる。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●石灰などアルカリ性肥料との同時施用はさける。

●センチュウ防除に使用する場合、散布ムラや不均一な土壌混和は薬効不足や葉害を生じることがあるので、作物の根のまわりに均等に分布するように土壌とよく混和する。

●処理は各適用作物の処理時期に応じて、植付直前、は種直前、又は定植直前が好ましく、圃場全面に均一に散布し、20cm程度の深さまで混和する。

●土壌が乾燥しすぎていると作物への吸収が劣り効果が十分でない場合があるので、作物の生育に好適な範囲で土壌水分を多くする。

●長年の連作によりセンチュウ密度が極端に高くなっている圃場、あるいは前作の被害残渣が多く

残っている圃場では「くん蒸剤」などと組み合わせる。

【薬効・薬害等の注意】……………

●なす、ピーマン、メロン、きゅうり及びすいかの育苗鉢に使用の場合は次に注意する。

○定植3日前～直前に使用する。

○本剤が葉に付着しないように育苗鉢の土壌表面に均一に散布する。

○表土が乾燥している場合は、効力が劣る場合があるので処理後軽く散水する。

○育苗初期に多量に処理すると薬害を生じるおそれがあるので、所定範囲の低薬量で処理する。

●ばれいしょの全面土壌混和に使用の場合は次に注意。

○本剤は植物体に吸収されて効果を現すが、土壌中のジャガイモシストセンチュウに対する直接的な殺虫力は弱い。残効期間も比較的短いので、ジャガイモシストセンチュウの防除に使用する場合には、ばれいしょの植付直前に使用することが望ましい。

○圃場全面に均一に散布し、20～25cmの深さに土壌とよく混和する。

○一時に広範囲に多量使用の場合は、散布機具は飛散が少なく均一に散布できる乗用トラクター装着粒剤施用機（単純な重力落下方式）を用いる。手播、人力散粒機、乗用型以外の動力散粒機などによる散粒は行わない。

●だいず、えだまめ及びあずきに使用の場合は次に注意。

○本剤は植物体に吸収されて効果を現わすが、土壌中のダイズシストセンチュウに対する直接的な殺虫力は弱い。残効期間も比較的短いので、だいず及びあずきでは、は種直前に、えだまめでは、は種又は定植直前に使用する。

●適用作物（全般）の葉害などの注意は「葉害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

●医薬外用劇物。取扱いは十分に注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。動物実験では、本剤による中毒の治療法として硫酸アトロピン製剤の投与は有効であるがPAM製剤の投与は無効であると報告されている。

●皮膚に刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。

●散布の際、粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を洗い流し、衣服を交換する。

●過労時には散布作業しない。

●子供や散布に関係のない者などが作業現場に近づかないようにする。

●つまみ菜、間引き菜には使用しない。

●水源池、飲料用水、養魚池、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。

●本剤は毒性が強いので、取扱いは特に注意して危害防止に努め、決められた使用条件を厳守し、また絶対に所定の適用以外に使用されることのないよう管理する。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	オキサミルを含む 農薬の総使用回数	
ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシストセンチュウ	30kg	植付前	1回	全面土壌 混和	1回	
	ネグサレセンチュウ	20kg			植溝処理 土壌混和		
	アブラムシ類	1.5～2.5g/株	育苗期		株元処理	2回以内 (育苗期の株元 処理は1回以内、 定植前の土壌混 和は1回以内)	
なす	ミナミキイロアザミウマ	1～2.5g/株					
ピーマン	アブラムシ類	1.5～2.5g/株					
	ミナミキイロアザミウマ	1～2.5g/株					
	ネコブセンチュウ	50kg	定植前		全面土壌 混和		1回
メロン(地床)	ミナミキイロアザミウマ	1～2.5g/株	育苗期		株元処理		
メロン(揚床)		1g/株					
メロン にがうり	ネコブセンチュウ	40～50kg	定植前		全面土壌 混和	1回	
		40kg					
きゅうり	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	25～50kg	は種前又は 定植前				
	アブラムシ類		定植前				
	ミナミキイロアザミウマ	1～2.5g/株	育苗期		株元処理		
すいか	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	25～35kg	は種前又は 定植前		全面土壌 混和		
	ミナミキイロアザミウマ	1～2.5g/株	育苗期		株元処理		
	アブラムシ類	1.5～2.5g/株					
とうがん	ミナミキイロアザミウマ	2.5g/株	定植時		植穴処理		

作物名	適用害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	オキサミルを含む 農業の総使用回数
レ タ ス	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	40～50kg	定植前	1 回	全面土壌 混和	1 回
リーフレタス		40kg	定植前 但し、収穫 75日前まで			
ト マ ト ミニトマト		25～50kg	定植前			
だ い こ ん	は種前					
		ネコブセンチュウ アブラムシ類				
ネグサレセンチュウ		20～50kg				
に ん じ ん		ネコブセンチュウ	20～37kg			
ご ぼ う	ネグサレセンチュウ					
もりあざみ	キタネグサレセンチュウ	40～50kg				
か ん し ょ	ネコブセンチュウ	30～40kg	植付前 (挿苗前)			
やまのいも		40～50 kg	植付前			
さ と い も	ネグサレセンチュウ	40 kg				
あ ず き	ダイズシストセンチュウ	6 kg	は種前		作条土壌 混和	
		30 kg			全面土壌 混和	
6 kg		は種前又は 定植前	作条土壌 混和			
30 kg		は種前	全面土壌 混和			
え だ ま め		6 kg	は種前又は 定植前		作条土壌 混和	
		30 kg			全面土壌 混和	
に ん に く		イモグサレセンチュウ	30～50 kg		植付前	
た ば こ ※		ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	37 kg	定植前	作条土壌 混和	

※：同一薬剤名（会社名を除き）であっても登録内容が異なる箇所。使用時には必ずラベルで登録内容を確認すること。